



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月7日

上場会社名 株式会社デコルテ・ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7372 URL <https://www.decolite.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 賢二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部ゼネラル・マネージャー (氏名) 新 敬史 TEL 078 (954) 5820  
四半期報告書提出予定日 2024年5月7日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,791	△5.9	186	△66.5	135	△72.3	91	△72.6	91	△72.6	91	△72.6
2023年9月期第2四半期	2,965	14.6	554	△39.2	491	△42.7	335	△43.4	335	△43.4	335	△43.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	18.01	—
2023年9月期第2四半期	65.79	—

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益について、新株予約権の残高がありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	13,427	4,862	4,862	36.2
2023年9月期	13,653	4,763	4,763	34.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,583	△4.6	184	△79.3	88	△88.4	54	△88.9	54	△88.9	10.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	5,670,000株	2023年9月期	5,670,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	562,039株	2023年9月期	571,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	5,102,011株	2023年9月期2Q	5,098,061株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 2024年5月7日に当社ウェブサイト（<https://ir.decollte.co.jp/>）に決算説明資料を掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、企業・個人ともに消費動向の改善や、インバウンド需要の回復が見られるものの、世界的な資源価格の高騰や円安による物価の上昇等の影響を受けるなど、依然として不透明な状況が続いています。

ブライダル業界においては、コロナ禍において減少した婚姻組数の回復が見られない中、コロナ禍における「結婚式」に対する価値観の変化の加速とも相まって、本格的な回復には至っていない状況が続いています。

一方で、フォトウエディングは新たな結婚式のスタイルの一つとして注目を集め、特にコロナ禍以降、フォトウエディング市場には規模の大小を問わず新規参入を試みる事業者が増え、一部地域においては低価格でサービスを提供する事業者も現れています。

このような経営環境の下、主力業態であるフォトウエディングサービスにおいては、撮影やヘアメイク、衣装などのサービスの質を高めつつ、フォトウエディングを身近に感じていただけるように、フォトウエディングのリーディングカンパニーとして、認知度の向上や顧客のニーズと環境に合わせた施策を実行し、市場拡大に取り組んでまいりました。

また、アニバーサリーフォトサービスの「HAPISTA」においては、お宮参りや七五三等のイベントだけでなく、お子様を中心に家族でリピートしたくなるHAPPYな体験を得られるフォトサービスを提供してまいりました。現在全国で10店舗展開していますが、今後はブランド力を強化し、顧客層の厚い首都圏での店舗展開を進め、事業拡大を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、フォトウエディングサービスにおいて婚姻組数の回復の遅れや、小規模事業者を含めた新規参入者の増加等の影響もあり、売上収益は前年同期を下回りました。費用面では、前連結会計年度に出店した7店舗の賃借料や、認知向上・集客のための広告宣伝費の増加、人材の採用促進と給与制度改定（賃金引上げ）に伴う人件費の増加等、前年同期に比べ増加しました。これらの結果、売上収益は2,791百万円（前年同期比5.9%減）となり、前年同期に比べ174百万円減少しました。営業利益は186百万円（同66.5%減）となり、前年同期に比べ368百万円減少しました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は91百万円（同72.6%減）となり、前年同期に比べ243百万円減少しました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

#### <スタジオ事業>

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益2,769百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益195百万円（同64.8%減）となりました。

##### ・フォトウエディングサービス

撮影件数は前年同期に比べ7.9%減少、撮影単価は前年同期に比べ0.7%減少となりました。売上収益は前年同期に比べ155百万円減少し、2,638百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

##### ・アニバーサリーフォトサービス

前連結会計年度に開店した「HAPISTA なかもず店」「HAPISTA 尼崎店」「HAPISTA 今福鶴見店」が期初から収益貢献したことに加え、2024年1月に兵庫県西宮市に「HAPISTA阪急西宮ガーデンズ店」、2024年3月に東京都台東区に「HAPISTA浅草店」を新規出店した結果、売上収益は4百万円増加し、131百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

#### <その他>

フィットネスジムにおいては、2023年11月末で40minutes芦屋店を閉店したことを受け、売上収益は前年同期を下回り推移しました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益21百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の分析

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は983百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円減少しました。これは主に現金及び現金同等物が314百万円減少した一方で、棚卸資産が6百万円、その他の流動資産が15百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動資産は12,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加しました。これは主に2023年12月に開店したスタジオAQUA千葉船橋店、2024年1月に開店したHAPISTA阪急西宮ガーデンズ店、2024年3月に開店したHAPISTA浅草店に係る固定資産を取得したこと等により、有形固定資産が86百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は13,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,102百万円減少しました。これは主に2020年12月に締結したシンジケートローンの借換を実行したことにより、借入金が1,970百万円減少したことによるものです。非流動負債は6,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,777百万円増加しました。これは主に2020年12月に締結したシンジケートローンの借換を実行したことにより借入金が1,788百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は8,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円減少しました。

## (資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は4,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。これは主に利益剰余金が91百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は36.2%（前連結会計年度末は34.9%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は494百万円となり、前連結会計年度末と比べ314万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比250百万円減少し、390百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期利益が135百万円となり、減価償却費及び償却費439百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、法人所得税の支払額138百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは183百万円の支出（前年同期は443百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出174百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは521百万円の支出（前年同期は635百万円の支出）となりました。主な要因は、シンジケートローンの借換に伴う長期借入金の借入による収入2,334百万円のキャッシュの増加要因があった一方で、シンジケートローンの借換などに伴う長期借入金の返済による支出2,521百万円、賃貸借物件の家賃支払い等によるリース負債の返済による支出333百万円のキャッシュの減少要因がありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2024年5月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	808,510	494,157
営業債権及びその他の債権	292,165	292,089
棚卸資産	93,426	99,736
その他の流動資産	81,870	97,365
流動資産合計	1,275,972	983,348
非流動資産		
有形固定資産	1,311,417	1,397,671
使用権資産	4,796,423	4,776,759
のれん	5,635,785	5,635,785
無形資産	16,528	15,108
その他の金融資産	541,809	535,352
繰延税金資産	70,991	78,785
その他の非流動資産	4,737	4,737
非流動資産合計	12,377,692	12,444,199
資産合計	13,653,664	13,427,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,448,021	477,592
営業債務及びその他の債務	248,660	237,081
リース負債	591,701	590,950
未払法人所得税	143,938	68,726
引当金	30,147	—
契約負債	393,614	369,871
その他の流動負債	261,770	271,395
流動負債合計	4,117,854	2,015,618
非流動負債		
借入金	472,397	2,260,556
リース負債	4,013,024	3,984,264
引当金	287,140	305,096
非流動負債合計	4,772,562	6,549,916
負債合計	8,890,416	8,565,534
資本		
資本金	155,384	155,384
資本剰余金	2,753,215	2,744,166
利益剰余金	2,411,957	2,503,844
その他の資本の構成要素	42,843	48,381
自己株式	△600,152	△589,763
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,763,248	4,862,012
資本合計	4,763,248	4,862,012
負債及び資本合計	13,653,664	13,427,547

(2) 要約四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	2,965,515	2,791,269
売上原価	1,715,394	1,840,859
売上総利益	1,250,120	950,409
販売費及び一般管理費	698,958	786,169
その他の収益	4,519	23,540
その他の費用	892	1,677
営業利益	554,788	186,102
金融収益	3,876	5,996
金融費用	67,387	56,235
税引前四半期利益	491,277	135,863
法人所得税費用	155,851	43,976
四半期利益	335,425	91,887
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	335,425	91,887
四半期利益	335,425	91,887
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	335,425	91,887
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	65.79	18.01



(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	1,149,954	984,699
売上原価	799,243	811,195
売上総利益	350,710	173,503
販売費及び一般管理費	338,026	372,861
その他の収益	3,670	23,223
その他の費用	892	1,360
営業利益(△損失)	15,461	△177,495
金融収益	2,330	3,909
金融費用	36,085	25,337
税引前四半期利益(△損失)	△18,292	△198,924
法人所得税費用	△12,322	△70,450
四半期利益(△損失)	△5,970	△128,474
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△5,970	△128,474
四半期利益(△損失)	△5,970	△128,474
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益(△損失)	△5,970	△128,474
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△1.17	△25.16

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					自己株式	合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素 新株予約権				
2022年10月1日残高	155,384	2,753,165	1,919,947	28,888	△600,152	4,257,232	4,257,232	
四半期利益	—	—	335,425	—	—	335,425	335,425	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	
四半期包括利益合計	—	—	335,425	—	—	335,425	335,425	
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—	
株式報酬取引	—	—	—	7,813	—	7,813	7,813	
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	—	—	—	—	
所有者との取引額等合計	—	—	—	7,813	—	7,813	7,813	
2023年3月31日残高	155,384	2,753,165	2,255,373	36,701	△600,152	4,600,471	4,600,471	

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					自己株式	合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素 新株予約権				
2023年10月1日残高	155,384	2,753,215	2,411,957	42,843	△600,152	4,763,248	4,763,248	
四半期利益	—	—	91,887	—	—	91,887	91,887	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	
四半期包括利益合計	—	—	91,887	—	—	91,887	91,887	
新株予約権の失効	—	50	—	△50	—	—	—	
株式報酬取引	—	—	—	5,588	—	5,588	5,588	
譲渡制限付株式報酬	—	△9,098	—	—	10,388	1,289	1,289	
所有者との取引額等合計	—	△9,048	—	5,538	10,388	6,877	6,877	
2024年3月31日残高	155,384	2,744,166	2,503,844	48,381	△589,763	4,862,012	4,862,012	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	491,277	135,863
減価償却費及び償却費	396,104	439,539
金融収益	△3,876	△5,996
金融費用	67,387	56,235
有形固定資産除却損	703	316
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△107,615	△6
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,318	△6,310
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	20,234	△3,159
契約負債の増減額 (△は減少)	57,379	△23,743
その他の負債の増減額 (△は減少)	△9,649	11,825
その他－純額	△1,496	△22,289
小計	894,131	582,275
利息及び配当金の受取額	7	4
利息の支払額	△46,270	△52,871
法人所得税の支払額	△206,373	△138,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,495	390,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△310,747	△174,217
投資の取得による支出	△134,714	△15,310
投資の売却及び償還による収入	2,105	5,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443,357	△183,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の借入による収入	—	2,334,000
長期借入金の返済による支出	△370,165	△2,521,335
リース負債の返済による支出	△262,240	△333,884
その他－純額	△3,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△635,405	△521,219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△437,267	△314,353
現金及び現金同等物の期首残高	1,350,976	808,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	913,709	494,157

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(会計方針の変更)

該当事項ありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項ありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウエディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間におけるセグメント情報は、次のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	2,921,372	2,921,372	44,142	2,965,515	2,965,515
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	2,921,372	2,921,372	44,142	2,965,515	2,965,515
セグメント利益	553,395	553,395	1,392	554,788	554,788
金融収益	—	—	—	—	3,876
金融費用	—	—	—	—	67,387
税引前四半期利益	—	—	—	—	491,277

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	2,769,846	2,769,846	21,422	2,791,269	2,791,269
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	2,769,846	2,769,846	21,422	2,791,269	2,791,269
セグメント利益又は損失 (△)	195,032	195,032	△8,929	186,102	186,102
金融収益	—	—	—	—	5,996
金融費用	—	—	—	—	56,235
税引前四半期利益	—	—	—	—	135,863

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間におけるセグメント情報は、次のとおりです。

前第2四半期連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	1,127,873	1,127,873	22,080	1,149,954	1,149,954
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,127,873	1,127,873	22,080	1,149,954	1,149,954
セグメント利益	14,708	14,708	752	15,461	15,461
金融収益	—	—	—	—	2,330
金融費用	—	—	—	—	36,085
税引前四半期損失	—	—	—	—	△18,292

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

当第2四半期連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	977,899	977,899	6,799	984,699	984,699
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	977,899	977,899	6,799	984,699	984,699
セグメント損失(△)	△174,086	△174,086	△3,408	△177,495	△177,495
金融収益	—	—	—	—	3,909
金融費用	—	—	—	—	25,337
税引前四半期損失	—	—	—	—	△198,924

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。